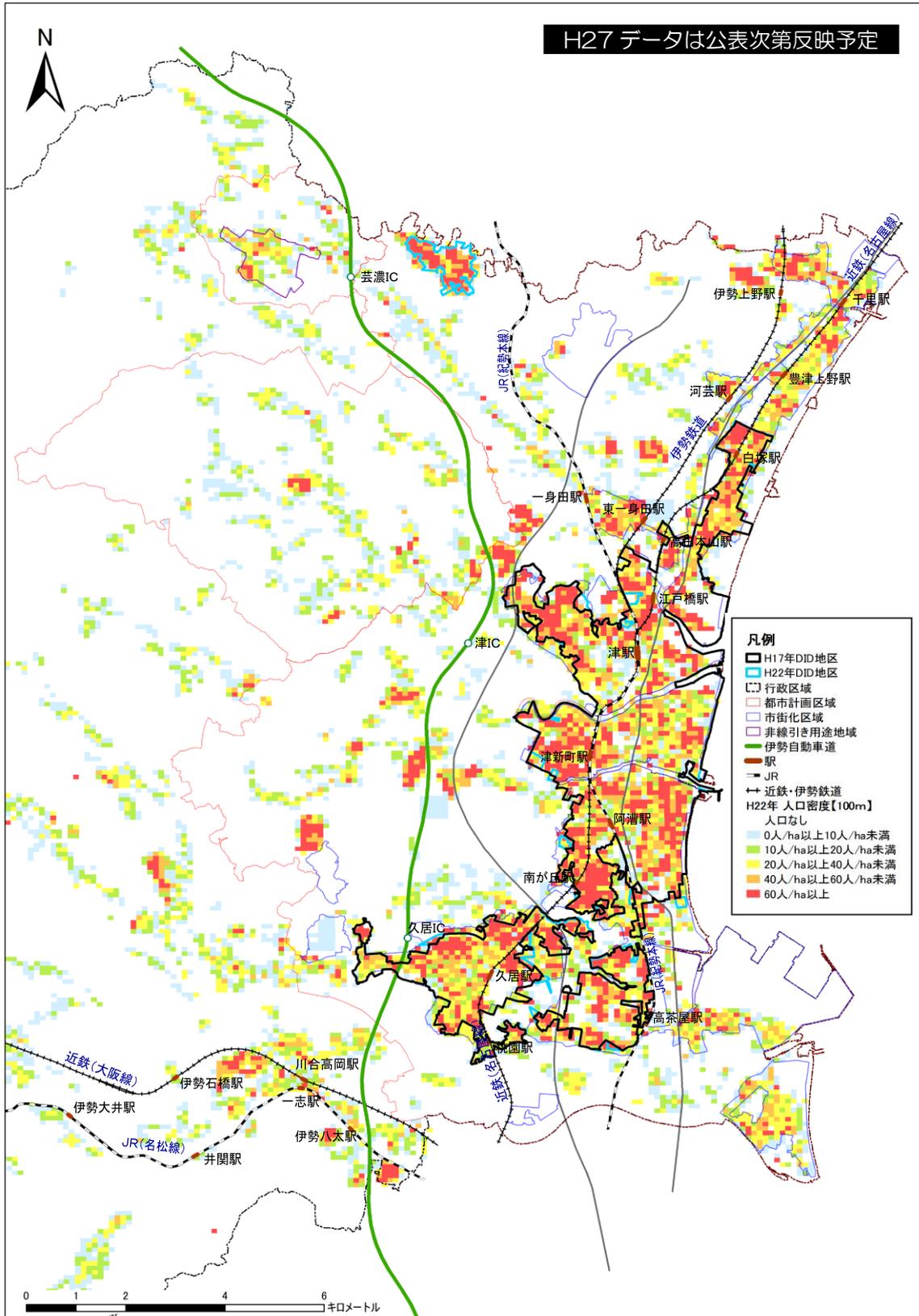


(3) D I D (人口集中地区) の変化

平成 17 年時点では鉄道沿線地区を中心に D I D が存在し、平成 22 年には一部の地域で D I D の拡大、縮小がみられます。



資料：国勢調査 (H22)

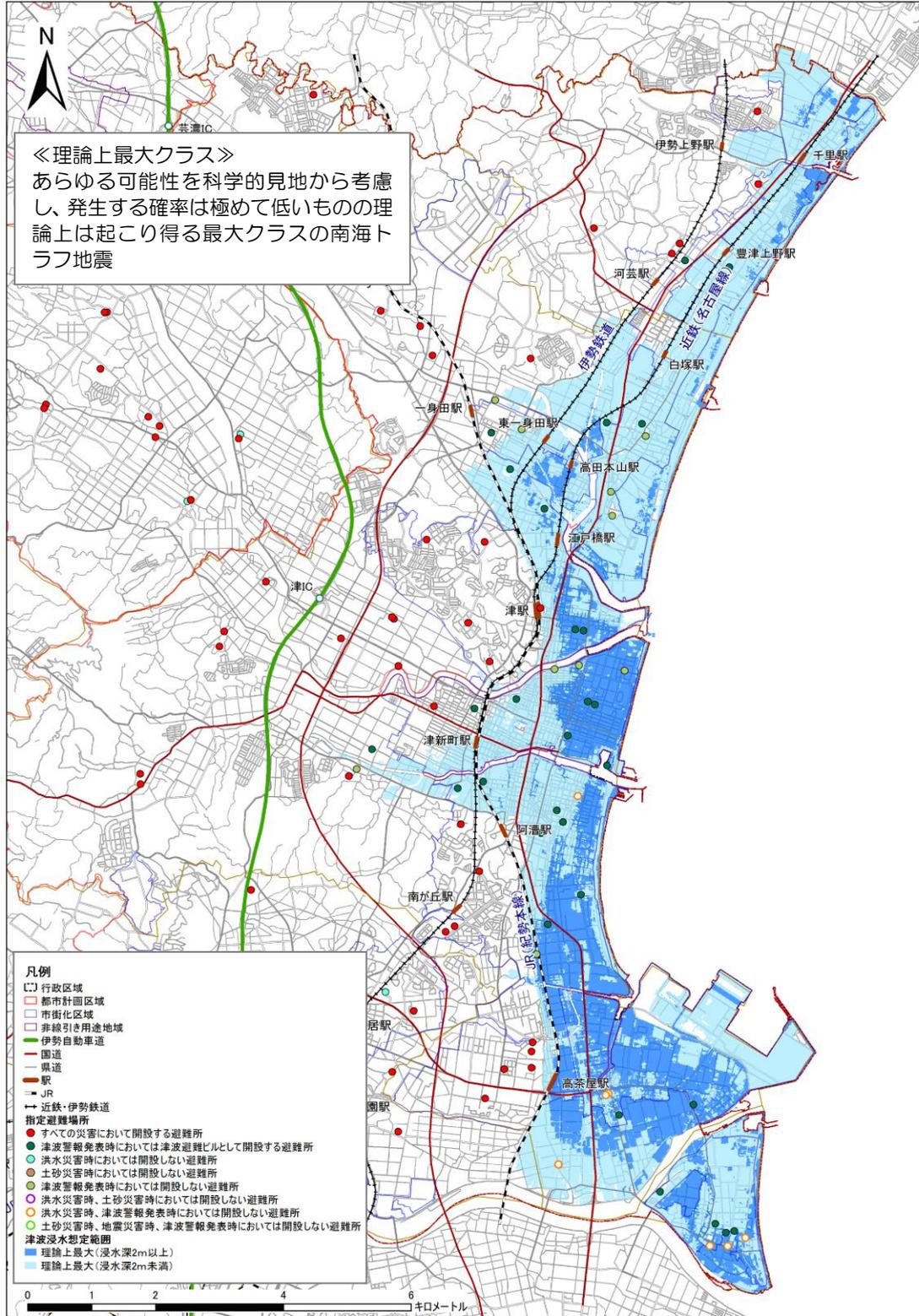
■ D I D と人口密度の状況

3-5 防災関連の状況

(1) 津波浸水想定状況

① 理論上最大クラスの津波浸水想定状況

南海トラフを震源とする理論上最大クラスの地震で堤防が破壊された場合を想定した浸水区域は、市内の沿岸部を南北に伸びており、橋北地区から雲出地区にかけての沿岸部の多くが浸水深2m以上の区域と想定されています。

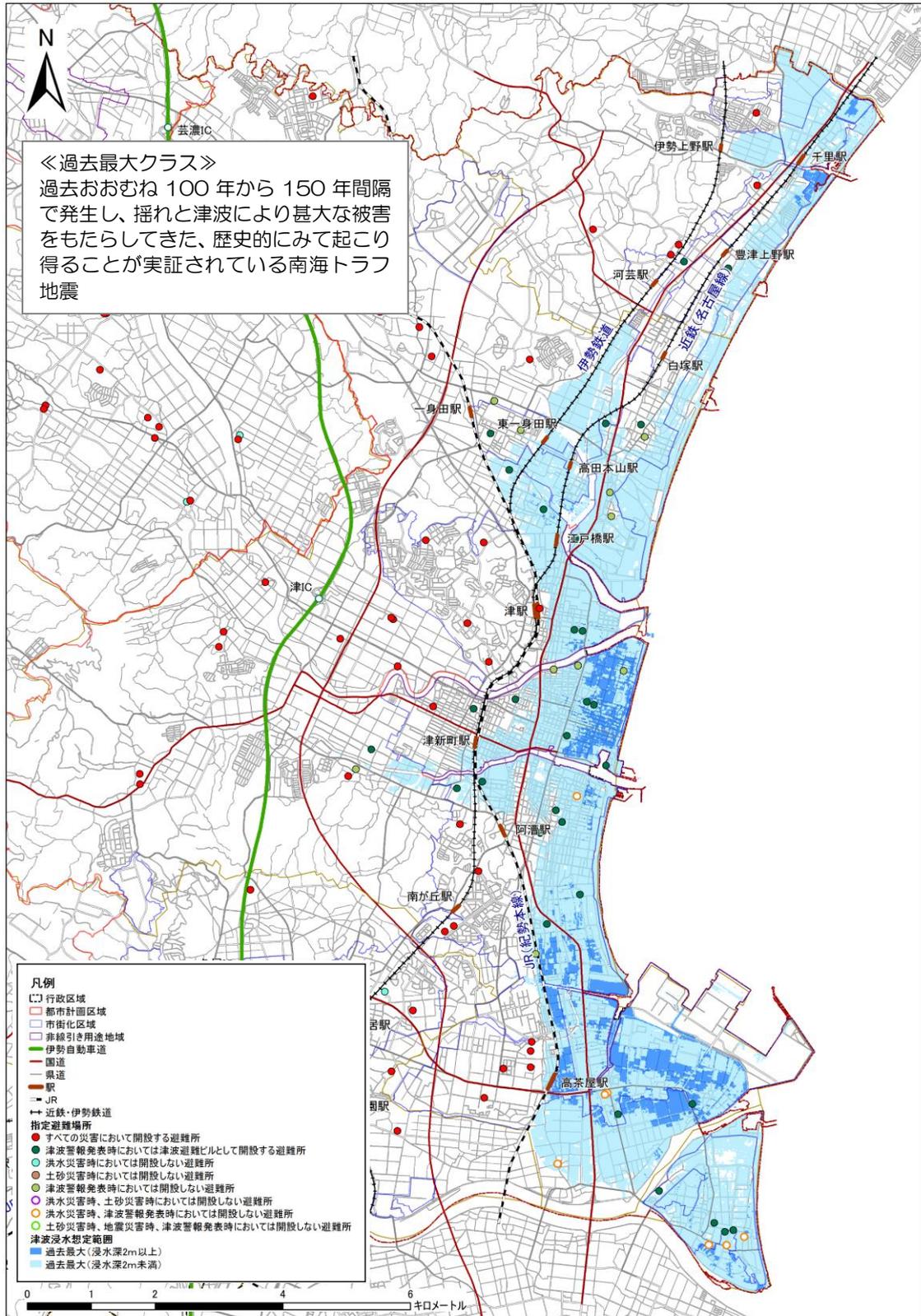


資料：三重県地震被害想定調査結果（H26.3）に基づき津市が作成

■ 津波浸水想定状況（理論上最大）

②過去最大クラスの津波浸水想定状況

南海トラフを震源とする過去最大クラスの地震で堤防が破壊された場合を想定した浸水区域は、市内の沿岸部に南北に伸びており、橋内地区の県道上浜高茶屋久居線東側、藤水地区・高茶屋地区のJR紀勢本線東側、雲出地区などにおいて、浸水深2m以上の区域と想定されています。

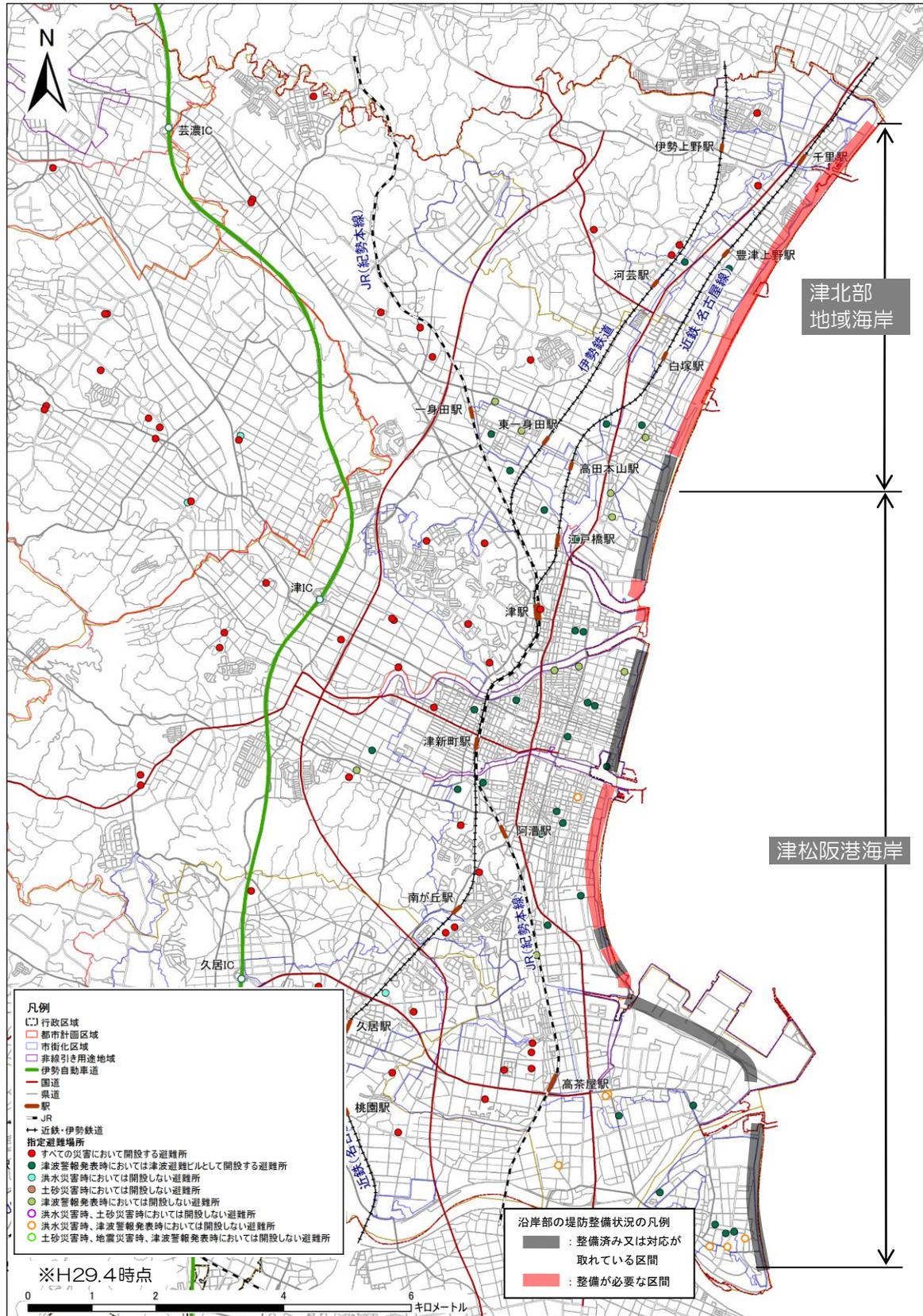


資料：三重県地震被害想定調査結果（H26.3）に基づき津市が作成

■津波浸水想定状況（過去最大）

(2) 沿岸部の堤防整備状況

津波による浸水被害が想定されている沿岸部では、津北部地域海岸及び津松阪港海岸において堤防整備が予定されており、津松阪港海岸の一部区間において整備が完了しています。



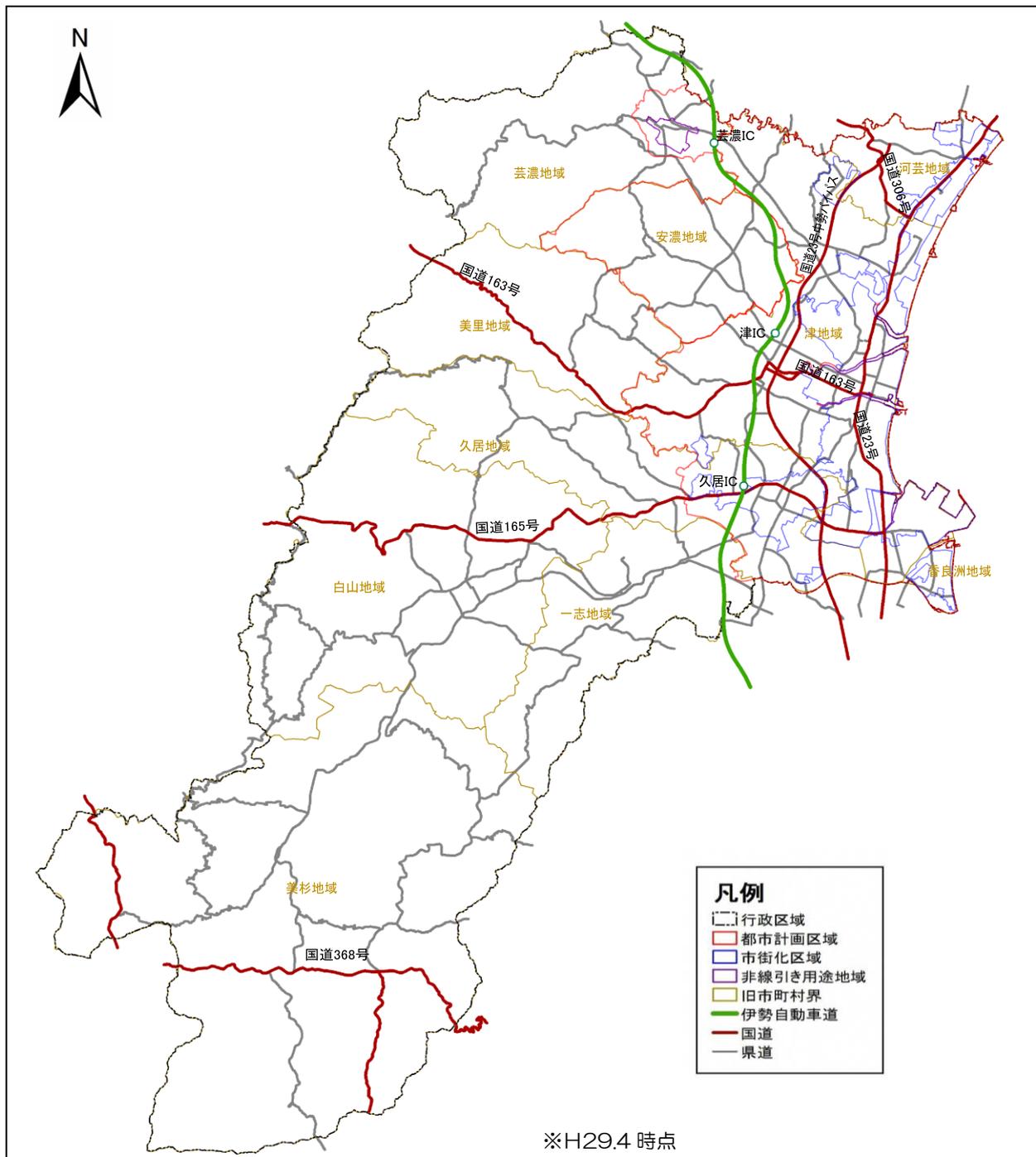
■沿岸部の堤防整備状況

4. 主要な都市施設等の状況

4-1 道路網

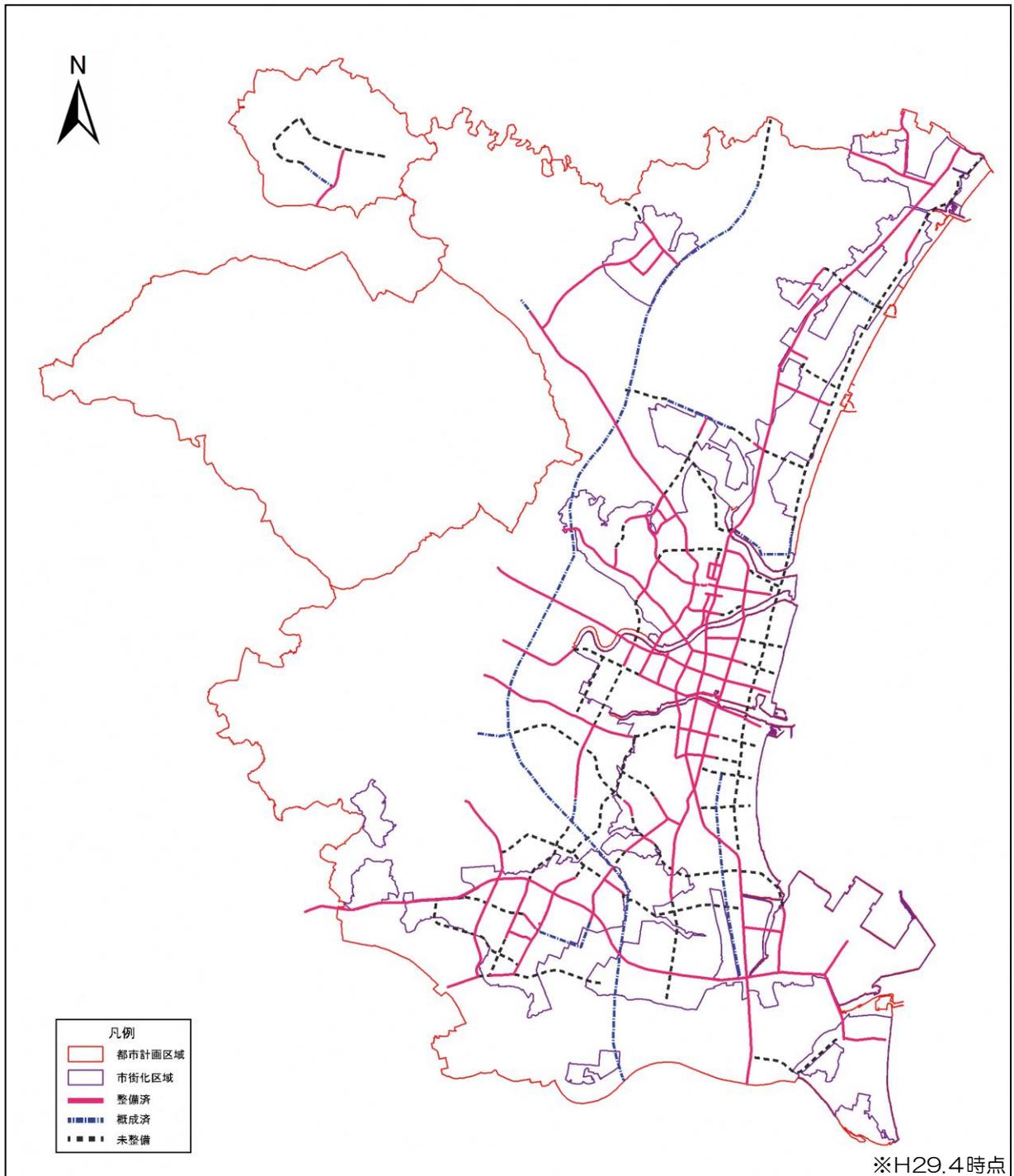
(1) 国道等

市内の主要道路は、津地域を中心に南北方向に伊勢自動車道、国道23号、国道23号中勢バイパス、国道306号が配置され、東西方向に、国道163号、国道165号、国道368号が配置されており、一般国道を主体とした道路網が形成されていますが、各地域の市街地をつなぐ道路や各地域間を連絡する道路は必ずしも十分に整備されているとはいえない状況も見受けられます。



(2) 都市計画道路

津都市計画区域及び亀山都市計画区域（芸濃地域の一部）における都市計画道路は、平成 29 年 3 月現在、64 路線、計画延長約 206,500m です。このうち、整備済み延長は 109,270m であり、整備率は 52.9%となっています。



- ※整備済：都市計画道路の計画幅員のとおりに整備されている整備済の区間
- 概成済：都市計画道路の計画幅員は満たさないものの、同程度の機能（計画幅員の 2/3 程度）を満たす現道がある区間
- 未整備：都市計画道路の整備が行われていない区間

■都市計画道路の整備状況

4-2 公共交通網

(1) 鉄道

市内の鉄道網は、近鉄名古屋線とJR紀勢本線が南北方向に運行しています。また、伊勢鉄道が津地域や河芸地域を通っているほか、近鉄大阪線やJR名松線が白山地域、美杉地域などの山間地域と伊勢湾沿いの市街地を結んでいますが、香良洲地域、芸濃地域、安濃地域及び美里地域には鉄道は通っていない状況となっています。

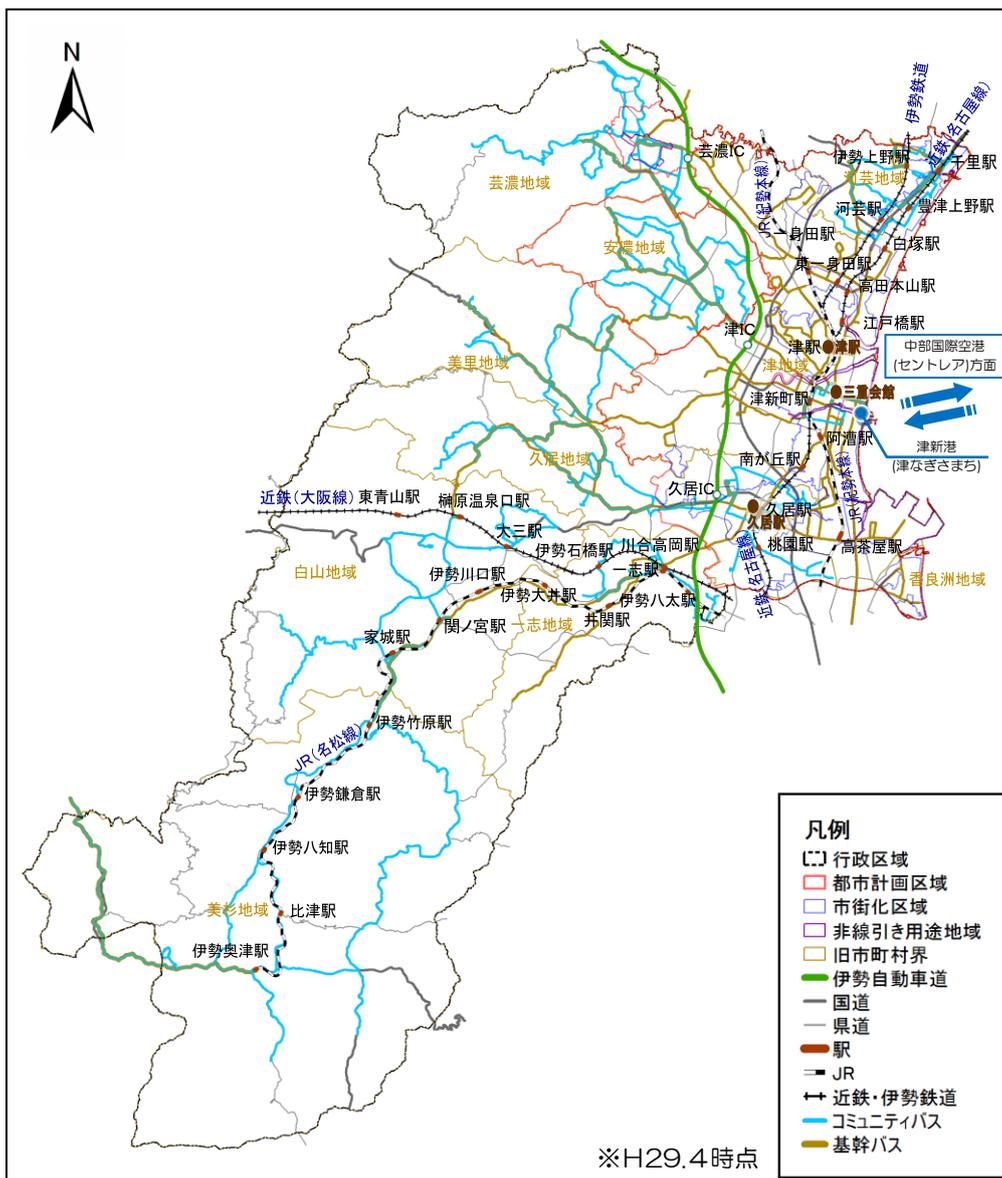
(2) 主要なバス路線

市内の営業バス路線は、津駅、久居駅、三重会館を主なターミナルとして形成されています。営業路線バスの運行状況からみると、津都市計画区域内での運行が主となっているほか、都市計画区域外の一志地域において運行しています。

また、都市計画区域の芸濃地域、安濃地域、都市計画区域外の地域については、主にコミュニティバスが区域内を網羅的に運行しています。

(3) 航路

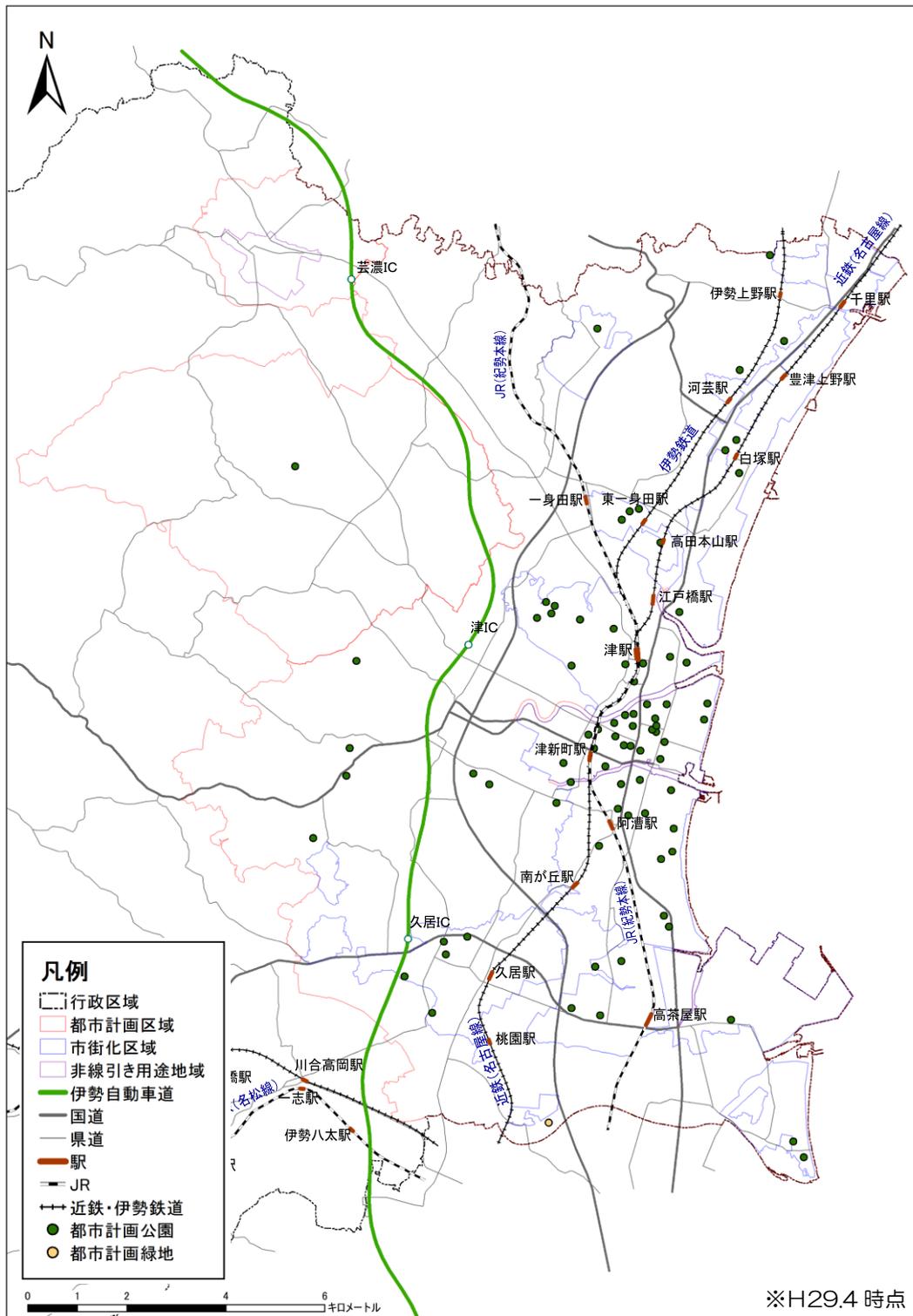
平成 17 年 2 月より、津新港（津なぎさまち）～中部国際空港（セントレア）間を約 45 分で結ぶ中部国際空港への海上アクセス（津エアポートライン）を開通し、平成 29 年 4 月現在では 1 日に 15 往復運航しています。



■鉄道、バス、航路の状況

4-3 都市計画公園・緑地

都市計画公園は、総合公園 4 箇所（約 70.8ha）、地区公園 5 箇所（約 28.7ha）、近隣公園 11 箇所（約 14.3ha）、街区公園 60 箇所（約 11.65ha）で都市計画決定されており、現在、98.09ha が開設されています。また、都市計画緑地は 2 箇所（約 37.0ha）で都市計画決定されており、現在、1 箇所（14.0ha）が開設されています。



■都市計画公園・緑地の分布状況